

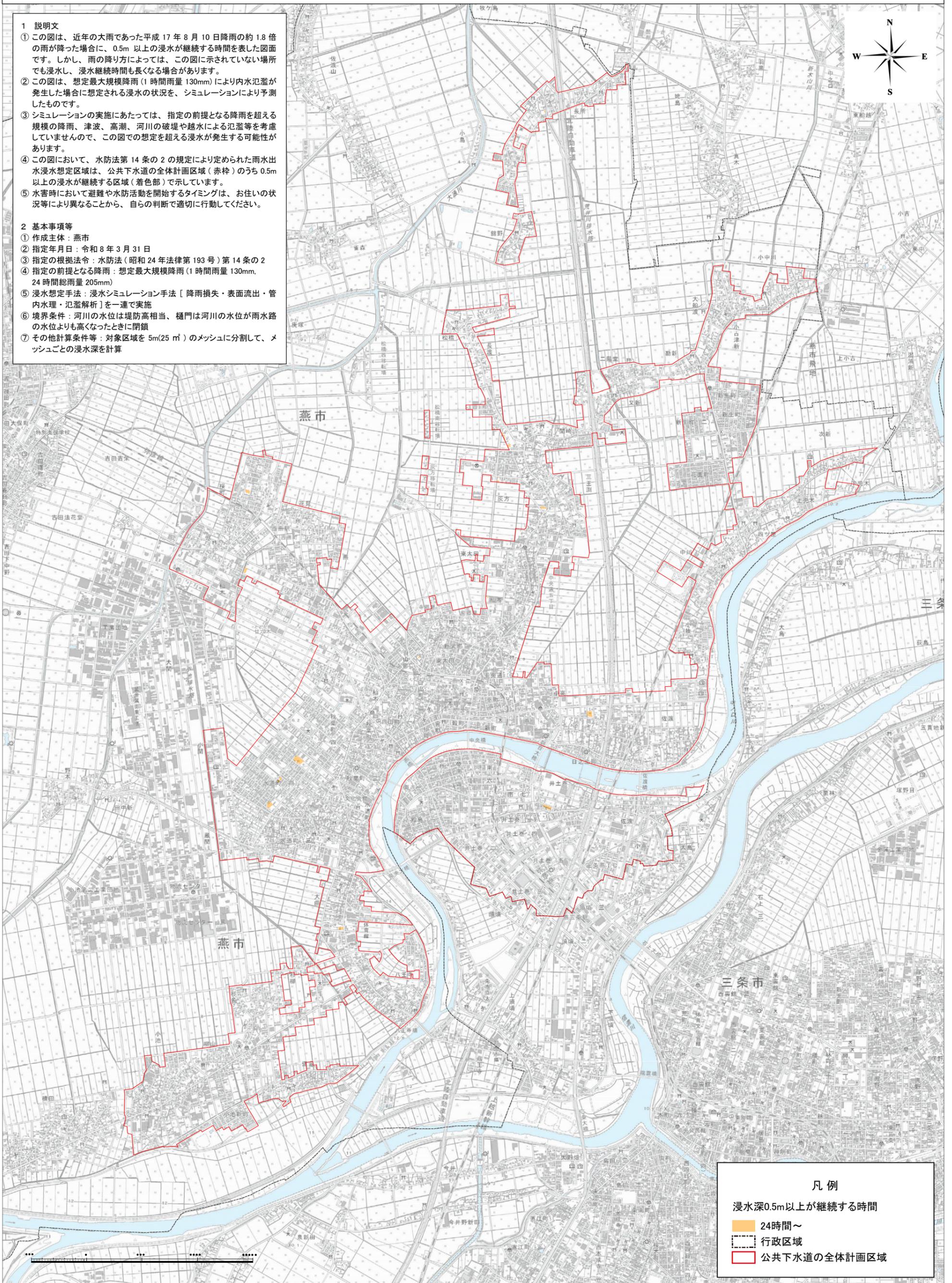
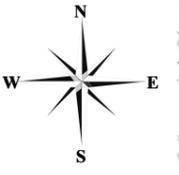
雨水出水浸水想定区域図（浸水継続時間）

1 説明文

- ① この図は、近年の大雨であった平成 17 年 8 月 10 日降雨の約 1.8 倍の雨が降った場合に、0.5m 以上の浸水が継続する時間を表した図面です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水し、浸水継続時間も長くなる場合があります。
- ② この図は、想定最大規模降雨（1 時間雨量 130mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- ③ シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- ④ この図において、水防法第 14 条の 2 の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の全体計画区域（赤枠）のうち 0.5m 以上の浸水が継続する区域（着色部）で示しています。
- ⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2 基本事項等

- ① 作成主体：燕市
- ② 指定年月日：令和 8 年 3 月 31 日
- ③ 指定の根拠法令：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の 2
- ④ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1 時間雨量 130mm、24 時間総雨量 205mm）
- ⑤ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法〔降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析〕を一連で実施
- ⑥ 境界条件：河川の水位は堤防高相当、樋門は河川の水位が雨水路の水位よりも高くなったときに閉鎖
- ⑦ その他計算条件等：対象区域を 5m(25 m²) のメッシュに分割して、メッシュごとの浸水深を計算



凡例

- 浸水深0.5m以上が継続する時間
- 24時間～
- 行政区域
- 公共下水道の全体計画区域